

第3回 PTA 運営委員会報道

R5.7.13 19:00~20:20

- 1 会長あいさつ 雨天時の通学について
- 2 校長あいさつ 授業参観へのお礼、大雨時の対応へのお礼
二者面談について（前期通知表所見の代わりになる面談）
- 3 報告事項
 - (1) 市P連関連
荒尾市PTA連合会 50周年記念式典 9/25（土）開催予定 九P大会（佐賀）
 - (2) 各委員会報告
 - ・広報…市P広報安心メールで配信予定
 - ・2年生学年活動…6/17（土）バルーンアート+「親の学び」講座 子供 58名、親 57名
 - ・3年生学年活動…10/14（土）科学実験遊び+「親の学び」講座
 - ・4年生学年活動…9/30（土）木エストラップづくり+「親の学び」講座
 - ・6年生学年活動…9/22（金）デイキャンプ+「親子学び」講座 5時間目~20:00
- 4 協議事項

(1) 今後のPTAについて（前回からの継続審議）

① 与田会長から7/10本部役員会を開いた際の意見等を説明

- ・PTAという言葉に対する保護者のマイナスイメージが強いので名称を廃止してはどうか
 - ・活動内容や保険適用方法等を含めて、新たな組織づくりをしていく
- （仮にPTAという名称がなくなっても保護者と教職員で作る組織ならPTA共済は加入可能）

② 運営委員（今回の参加者）3~4名ずつのワークショップで意見を出し合う

テーマ:PTAという組織の在り方について

～何がマイナスイメージで、それをどう変えるといいのか～



【各グループから出された意見】

- ・ P T Aという名前は変える。子供のために親同士の交流のために楽しい会にする。
- ・ 全員参加を前提にする。「できることを できる人が できるときにやる」
- ・ くじ引きはしない。大変だっという口コミがないように（コミュニケーションが苦手な上、中身が見えないため不安）年度末の会などで委員会の紹介をする。
- ・ 困った時に助けてもらえるような組織だといい。
- ・ マイナスイメージを変えようとするよりも、新しい組織で人数が減ってもできる（自分たちができる活動を縮小しながらでもやれるといい）形を模索する。
- ・（学校教育目標にある）子供たちの自立をサポートする活動にする。
- ・ 子供たちからの依頼が出たら動く。
- ・ 子供たちのために動けるメンバーの集まりとする。
- ・（学年学級ではなく）地域ごとのチーム制、P T Aという名前を出して活動を点数制にする。
- ・ 運動会で時間を設けてP T Aの（活動）紹介をする。
- ・ まずはP T A会則の見直しが必要。
- ・ P T A執行部からのトップダウンではない取組にしていく。
- ・ 組織化よりも依頼に応じて動ける仕組み（運動会後のテント撤収協力は素晴らしかった）
- ・ 委員長は荷が重い。
- ・ 年間を通じた委員活動と行事などの単発活動への協力との抱き合わせ。
- ・ 会議等の夜間開催は、負担が大きい。会費から専門のシッターを雇う。

<会長から>

やっている会員が楽しくやれるといい。これらの意見をもとによりよい組織にしていきたい。

<校長から>

様々な視点から意見を出し合うことで、ブラッシュアップが可能となる。

意見の中で出てきた「教育目標（自立できる子供）を実現させるためのサポート」という視点は大切。単に子供のためという活動よりも子供の「自立」のための活動となれば、より具体的なイメージがわく。今後、多くの視点で意見を集めていけばさらに改善されるのではないか。

(2) P T A美化作業について

- ・ 基本的には美化作業が必要な場所を学校から提示して、それを学年別に取り組む
- ・ 校内の掃除で行き届いていない場所「トイレや家庭科室など」を子供と一緒にやる
- ・ 校舎内の窓ふきなど
→再度検討して連絡する

5 その他 次回の運営委員会は9月13日（水）19：00～開催

以上